

# 終戦時残存艦艇セット(雲龍型/龍鳳型/飛鷹型/青葉)



Fujirai

## ▲ 注意 組み立てを始める前に、必ずお読みください。

●部品を取り出した後のビニール袋は、小さなお子様が無防備に頭から被ったりすると窒息する危険がありますので破り捨ててください。●プラスチック部品にはバリや、やむをえず尖った箇所があります。手指に怪我をしないよう注意してください。●ニッパーなどの工具を使用する際は、付属の説明書をよく読み、怪我に十分注意をして正しくご使用ください。●小さな部品は誤飲、窒息の危険があります。小さなお子様の手の届かない場所で組み立て、保管をおこなってください。●接着剤や塗料などを使用する場合は、中毒の危険性があります。付属の説明書に従い、換気に注意してご使用ください。●このキットの製作には、ニッパー、カッター、ヤスリ、ピンセットなどがあると便利です。接着剤や塗料を使う場合は、プラスチックモデル用をご使用ください。

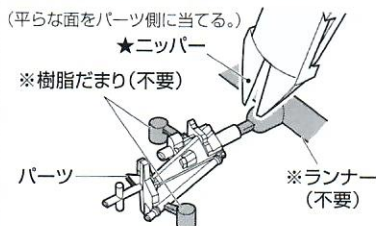
## ■ 使用色

株式会社 GSIクレオス (指定塗料)  
 H□は「水性ホビーカラー」  
 ■は「Mr. カラー」の塗料番号です。

〈艦艇色〉		〈艦体細部色〉		〈情景色〉	
124	暗緑色(三菱系)	62	H11 つや消しホワイト	6	H6 グリーン
601	呉海軍工廠標準色	33	H12 つや消しブラック		
602	佐世保海軍工廠標準色	44	H27 ライトブラウン(タン)		
603	舞鶴海軍工廠標準色	43	H37 ウッドブラウン		
605	外舷 22 号色				

## ■ 部品の切り取り

ランナーからパーツを切り取ります。  
 (不要な部分を丁寧に取り去ります)



〈二段階で切り取る方法〉 カットしにくい箇所は、下図のようにするときれいに切り取れます。

1. 縦に切り取ります。

2. 残りを切り取ります。



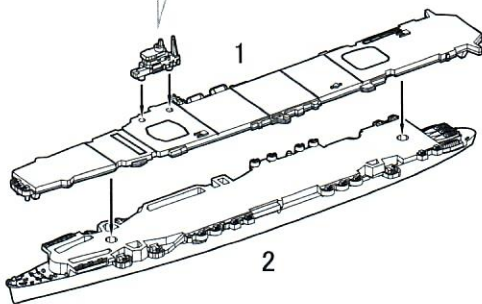


# 組み立て

残存港表記 呉：呉 佐世保：佐

## 雲龍型

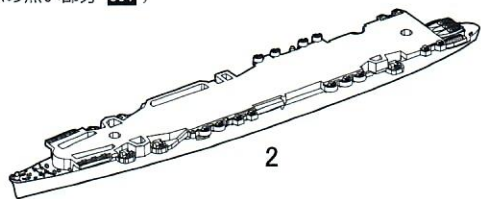
※カットします。



## 《阿蘇》 呉

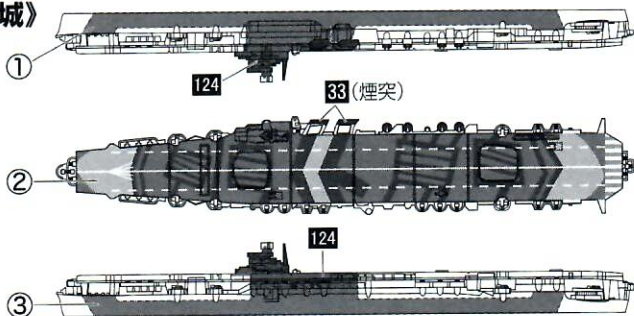
「阿蘇」は飛行甲板が未完成の状態です。したがって飛行甲板(1)、艦橋部品(4)を取り付けません。

(指示の無い部分 601)



## 《天城》

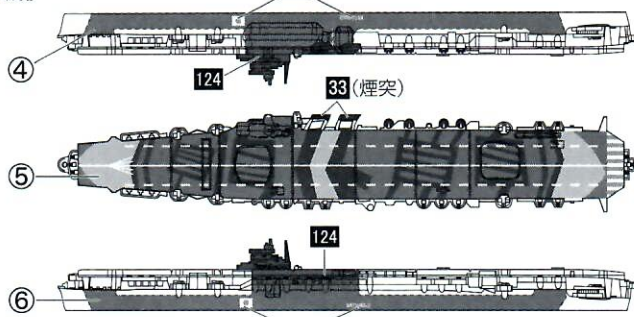
呉



## 《葛城》

呉

※終戦時の復員輸送艦を再現する際に貼ります。

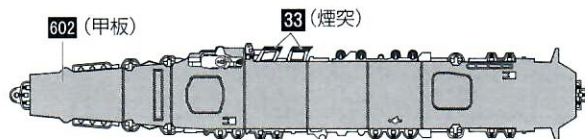


※終戦時の復員輸送艦を再現する際に貼ります。

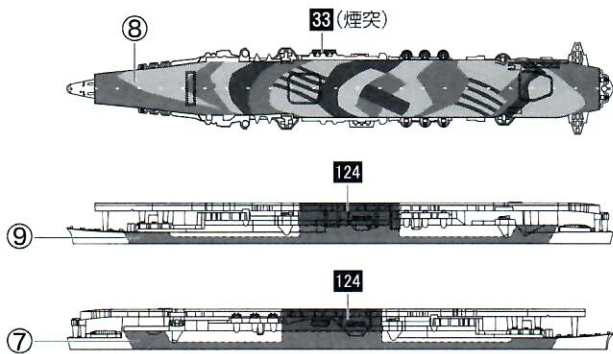
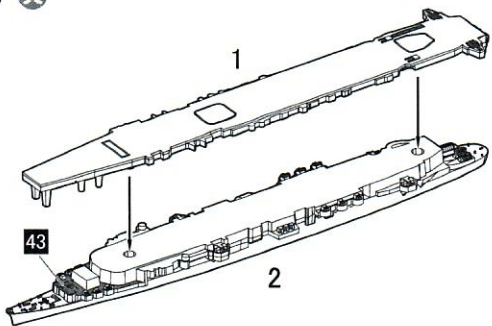
## 《笠置》

佐

※舷側は天城葛城のどちらかのデカールを貼ります。

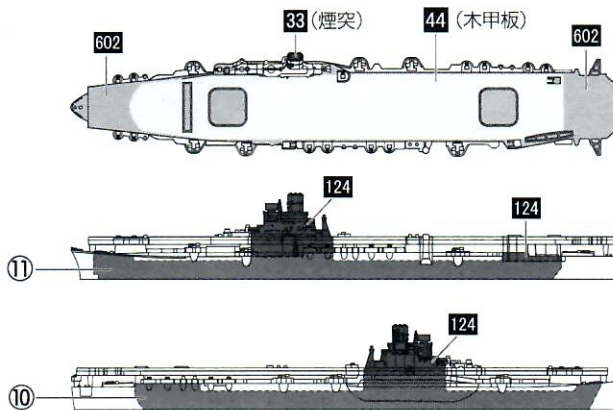
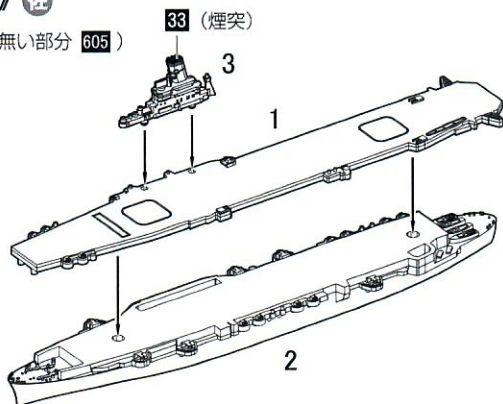


## 《龍鳳》 呉



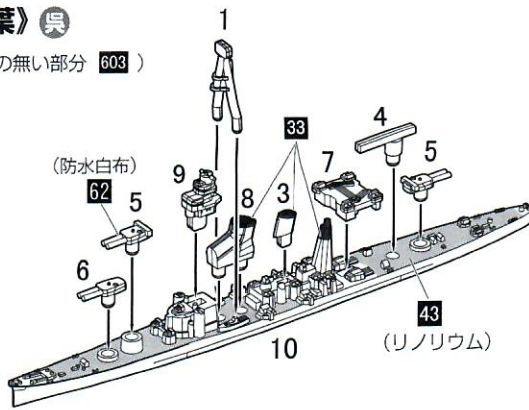
## 《隼鷹》 佐

(指示の無い部分 605)



### 《青葉》 呉

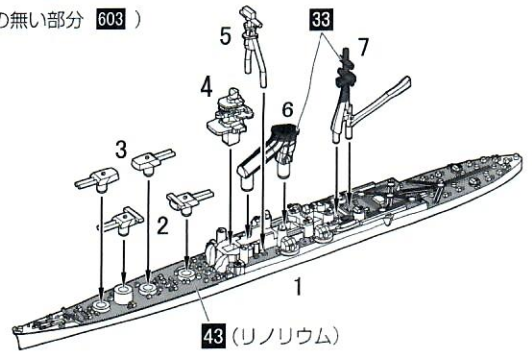
(指示の無い部分 603)



※部品は折れやすいのでなるべく根元を持って押し込んでください。

### 《利根》 呉

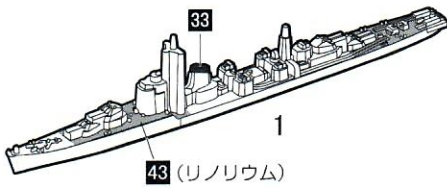
(指示の無い部分 603)



※部品は折れやすいのでなるべく根元を持って押し込んでください。

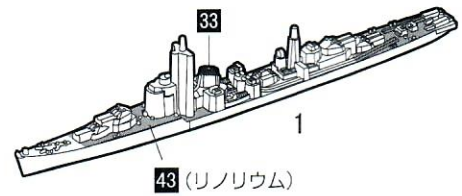
### 《冬月・春月・宵月・夏月・花月》 呉

(指示の無い部分 603)



### 《涼月》 佐

(指示の無い部分 603)

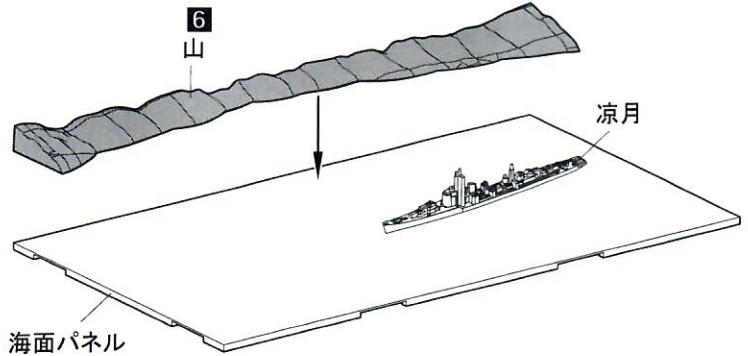


### 《山・海面パネル》

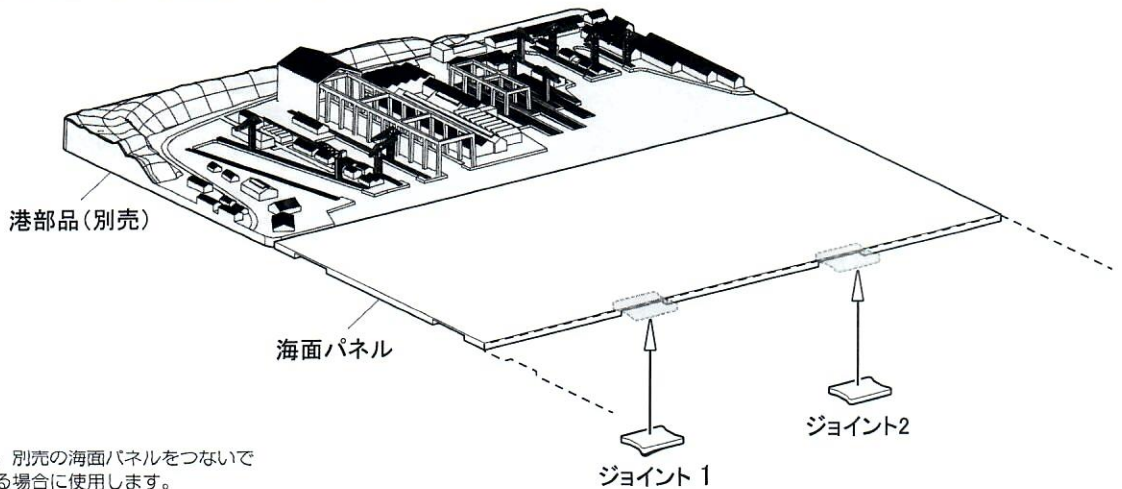
佐世保 相ノ浦で終戦を迎えた「涼月」を再現します。

※指定色は一参考例です、お好みで塗装してください。

※航跡を白で筆塗装しても良いでしょう。



別売の呉港・佐世保港などつなげて海面を広げます。



※ジョイント部品は、別売の海面パネルをつないで海面をさらに広げる場合に使用します。

## 《終戦時主要艦艇状況 一覧表》

昭和19年10月に生じたレイテ沖海戦（捷一号作戦）で連合艦隊は敗北、戦艦武蔵や重巡摩耶など多くの主要艦艇を失った。この戦いから戻れた艦艇は、日本本土に戻る艦や損傷しシンガポールに残った艦など様々に各地に散らばることとなった。昭和20年春には燃料不足から動けなくなった艦艇は本土決戦に向け、横須賀・呉・佐世保・舞鶴や各内海にむなしく浮き砲台として係留され、同年7月には呉方面の空襲で損傷や着底する艦艇が続出、ここに連合艦隊の最期を迎えることとなった。

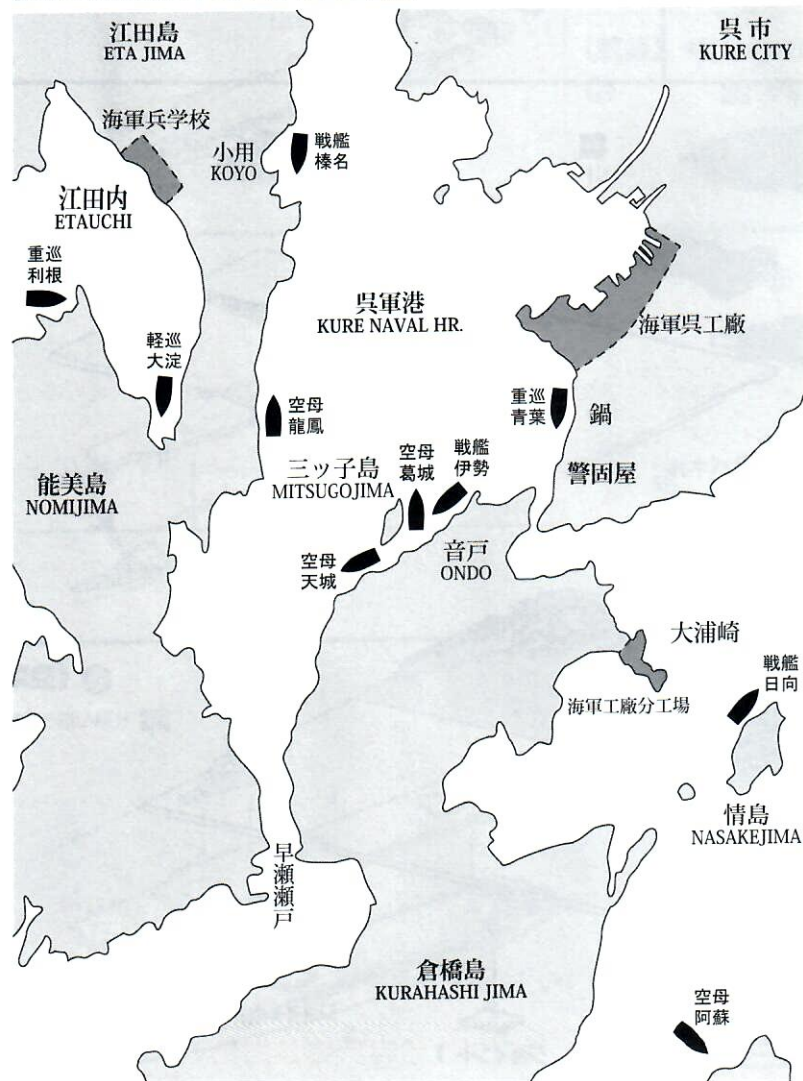
右記は昭和20年8月の終戦時に於ける主要艦艇の最終所在地と状態を示すものである。ある艦は復員輸送で最後の活躍を、ある艦は賠償引き渡しの艦となり他国に、また損傷や大破着底した艦は解体とそれぞれ異なった生涯を閉じることとなった。

艦種	艦名	所在	状態
航空母艦	鳳翔	呉	小破
龍鳳	龍鳳	別府附近	小破
海鷹	海鷹	呉	大破
天城	天城	呉	中破
葛城	葛城	呉	中破
阿蘇	阿蘇	佐世保	（未成）着底
笠置	笠置	佐世保	（未成）着底
巡洋艦	妙高	昭南島	大破航行不能
青葉	青葉	昭南島	大破
利根	利根	呉	大破着底
北条	北条	呉	大破着底
酒匂	酒匂	舞鶴	中破航行不能
大淀	大淀	呉	小破
駆逐艦	潮風	横須賀	中破
雪風	雪風	舞鶴	小破
涼月	涼月	佐世保	中破
冬月	冬月	呉	中破航行不能
春日	春日	呉	
宵月	宵月	呉	
夏花	夏花	呉	

## 《実歴史の残存艦艇について》

昭和20年に入り燃料の枯渇とともに動けぬ各艦艇の所在は全国に及び、とりわけ補給、造修の要となる呉軍港地区には多数の艦艇がいた。同年3月から7月にかけて、機雷による海上封鎖と米機動部隊による航空攻撃にさらされることとなった。春頃から呉軍港の錨地・工廠に終結していた艦艇は、付近の浅瀬に固定係留のうえ防空砲台として敵の襲来に備えることとなった。工廠に近い警固屋には重巡青葉があり、対岸の江田島にある小用付近に戦艦榛名、秋月付近には龍鳳が係留されていた。工廠の南にある三ツ子島では樹木で艦装し島と一体化を狙った空母天城・葛城が、海軍兵学校の面する江田内には重巡利根、軽巡大淀が分散配置されていた。終戦直前の7月24日と7月28日の空襲で各艦艇の奮戦もむなしく次々と損傷し、数週後に終戦を迎えた。

### 【多数の残存艦艇がいた呉軍港地区の状況】



### 《青葉》

昭和19年10月に機関を損傷、完全復旧はされず鍋海岸に疎開。空襲で大破着底。

### 《伊勢》

音戸町西岸に係留され、空襲により大破着底。その姿は第2砲塔が最期まで上空を睨んでいた。

### 《日向》

Q基地のあった情島の付近で空襲により大破着底。そこにはダズル迷彩を施していた姿があった。

### 《榛名》

現在はフェリーの発着場所となる小用港付近に係留され、奮戦むなしく空襲により大破着底。

### 《天城》

三ツ子島に艦装係留されるも空襲が原因による浸水で横転、戦後に解体された。

### 《利根》

江田内で西岸中央付近に係留、空襲により大破着底後に浮揚、解体。今は慰霊碑が残る。

### 《大淀》

損傷の応急修理後、江田内の奥へ。空襲により横転沈没。今も付近には慰霊碑が残る。

### 《葛城》

天城同様に三ツ子島で最後を迎え、被弾するも中破状態で、戦後は復員輸送で活躍した。

### 《阿蘇》

建造途中で工事中止となり、桜弾の標的として供された。飛行甲板はなく未成状態。

### 《龍鳳》

昭和20年3月の空襲で被弾損傷、江田島に係留され終戦を迎えた。戦後解体。

## 《呉港との組み合わせ》

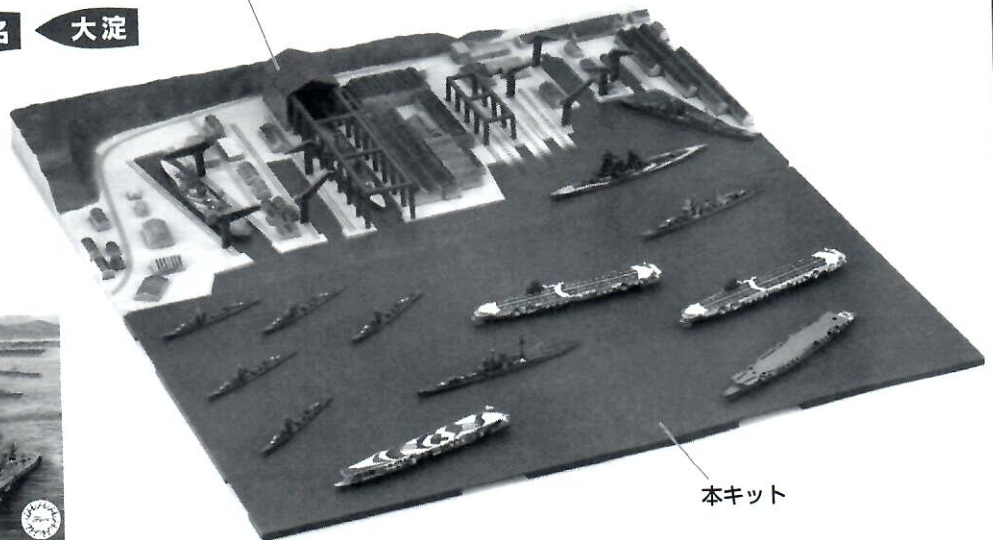
「同シリーズ No.5 呉軍港残存艦艇セット」(別売) と合わせることで、大多数の主要艦艇が揃います。  
小サイズながら迫力のジオラマをお楽しみください。

●本キット

天城 葛城 阿蘇 龍鳳 利根 青葉 冬月 春月 宵月 夏月 花月

○集める軍艦シリーズ No.5 昭和 20 年 呉軍港残存艦艇セット (税抜 2,800 円)

伊勢 日向 榛名 大淀



## 《佐世保港との組み合わせ》

「集める軍港シリーズ No.2 佐世保軍港」(別売) と合わせることで、大多数の主要艦艇が揃います。  
小サイズながら迫力のジオラマをお楽しみください。

●本キット

隼鷹 笠置 涼月

○集める軍港シリーズ No.2 佐世保軍港 (税抜 2,600 円)

